

A detailed illustration of a woman's back and buttocks, rendered in a soft, realistic style. Her hair is dark and pulled up into a ponytail with a black hair tie. The background is solid black, which makes the skin tones stand out. The lighting is soft, highlighting the contours of her body.

母の静かな喘ぎ声2

～体験版～

この物語は全てフィクションです。
登場する人物・団体・名称などは架空であり、
実在のものとは一切関係ありません。



今日はお休みでしたのに…
大変ですね、あなた…

まあ、仕方が無いさ…
大学病院は多忙だからな

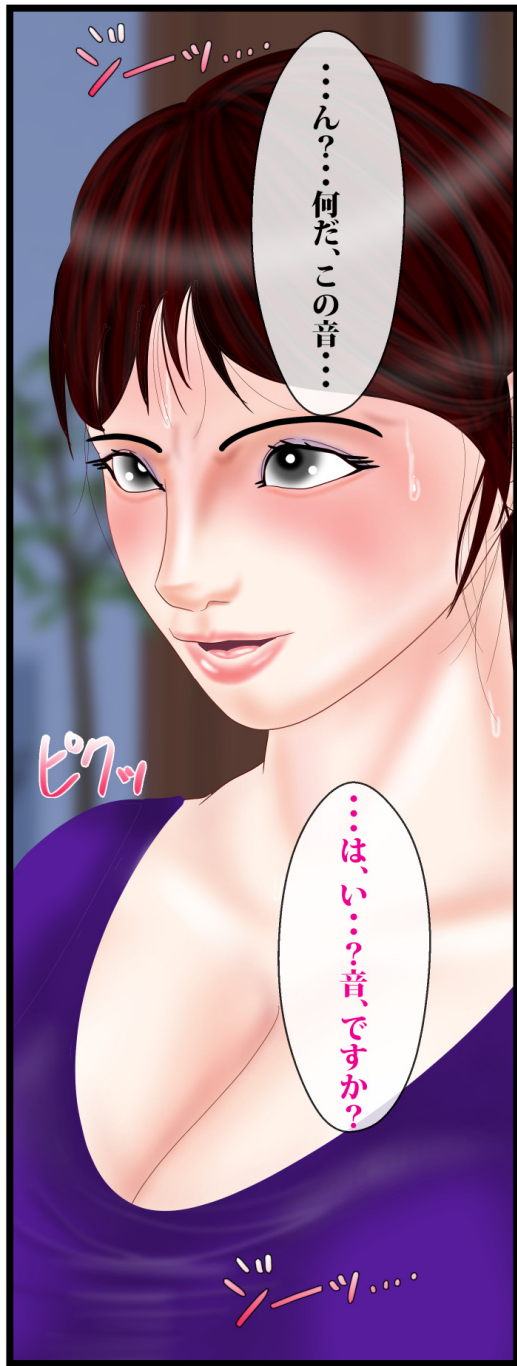
御夕食…あなたの分は
別にご用意しておきますね

ああ…すまん、真由子



うん、何か…モーターの
音かな…聞こえないか？

…いいえ…私には…
別に…何も…



…ん？…何だ、この音…

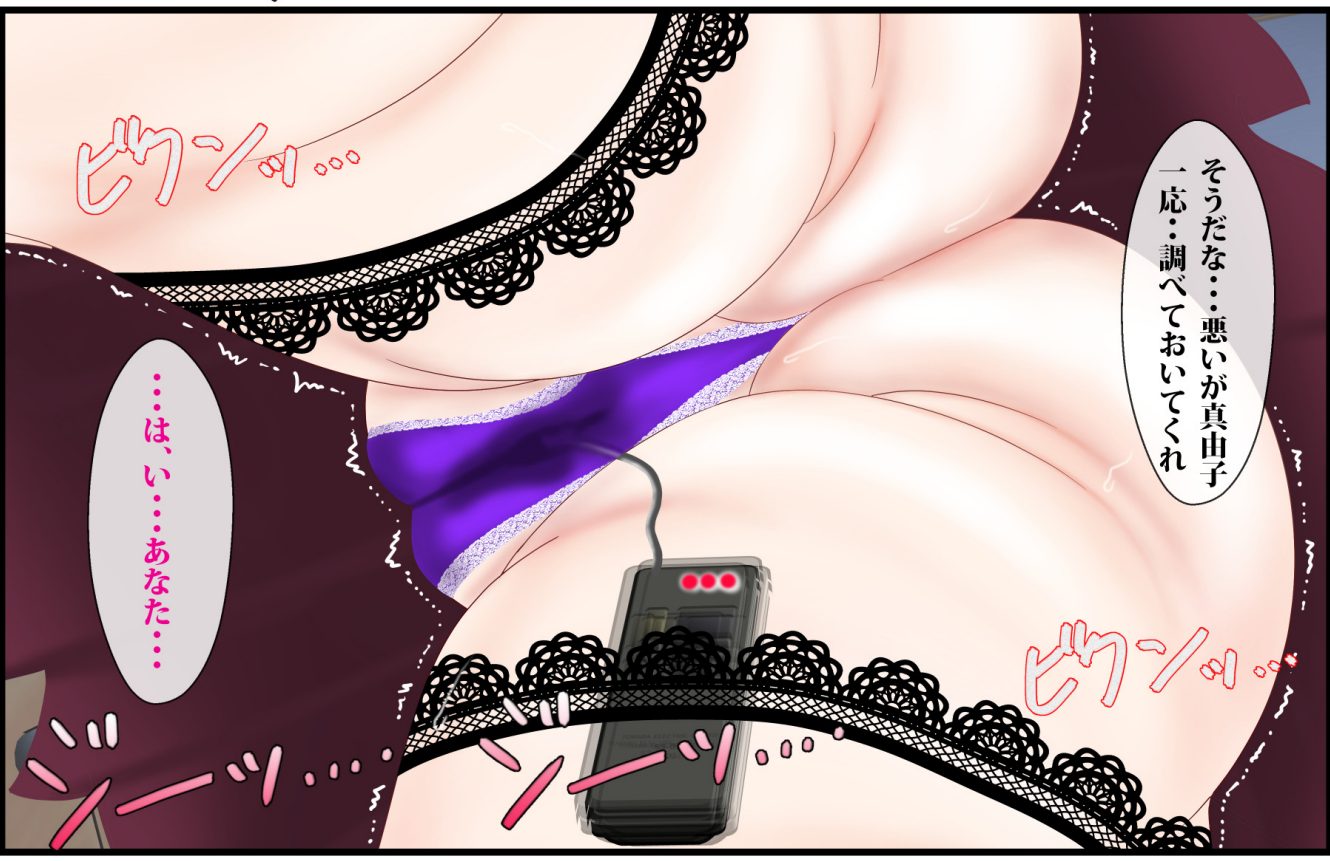
…はい…？…音ですか？



…な、何か、蛍光灯とか…
…切れる、直前、かも…



いや、大きくなってきてる
玄関の電灯かな…？



そうだな…悪いが真由子
一応…調べておいてくれ

…はい…あなた…



はい…あなた…
行ってらっしゃい…



じゃあ、行ってくるよ



尻を見せろよ、真由子…
よし…ローターしてるな

…もうこんな怖い事は
絶対にやめて、裕也…

よく云うぜ、興奮して
オマンコぬるぬるだろ？

途中でMAXにしたのに、
よく堪えたよな…へへへ



脱げって…裕也、
ここは玄関なのよ？

全裸じゃねえよ…
Tバックだけの恰好だ



何て事言うの…!!
とにかく、もう…

そのまま脱げよ、母さん



裕也、もうお昼過ぎよ
健太が、帰ってくるわ

健太？まだバイトだよ
いいから二階に上がれ



やっぱりエロい身体だな...

ジュルッ...

ブルッ...

ジュルッ...



二階に...上がって...
何を...するの...

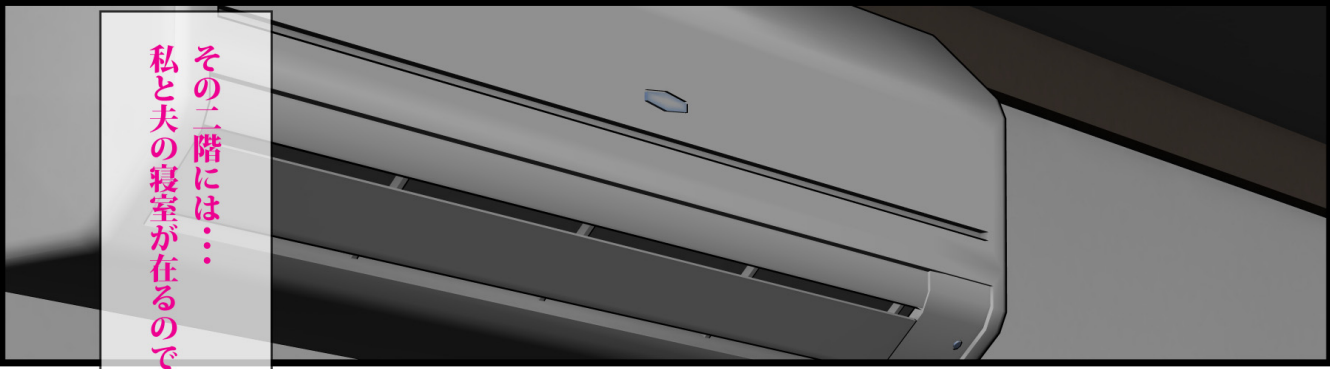
何もしねえよ...その
パイプを抜くだけだ...

ああ...しねえよ

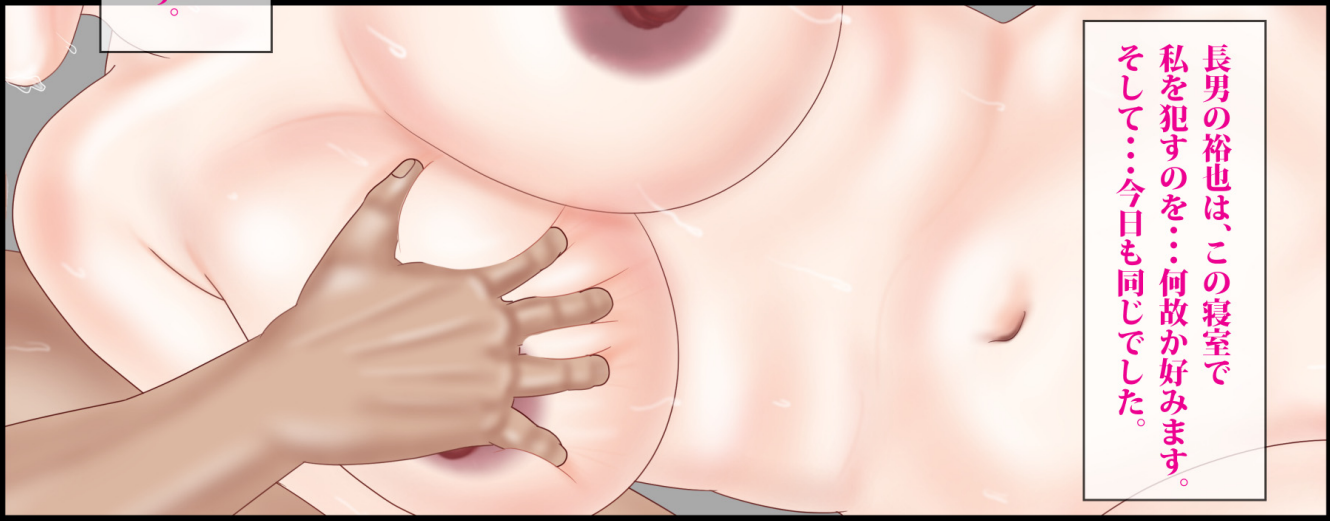
信じて...良いのね...
何も、しないって...

ジュルッ

ジュルッ



その二階には…
私と夫の寝室が在るのです。



長男の裕也は、この寝室で
私を犯すのを…何故か好みます。
そして…今日も同じでした。




股間のパイプは、一番太いものに交換され…
裕也はその振動値を、最大に引き上げます。



女の奥を激しく刺激され、痙攣して悶える母親の私を…裕也は血走った眼で凝視していました。





バイトが予定より早く終わり：
家路へと帰る僕の足取りは、
軽いものでは無かった。

急用で出掛けると云っていた父。
なら、あの家には…母さんと
兄の裕也しかいない筈だ。



あの兄が、母と二人きりになれば
何をするかは…決まっている。





帰宅すると、女の叫び声が
二階の奥から聞こえてきた。

あは！

おう！

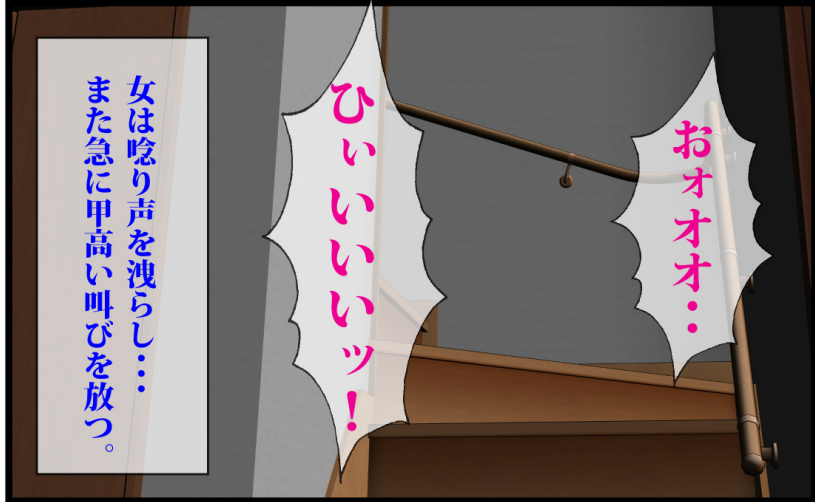
カチヤッ

ああ！



はあ

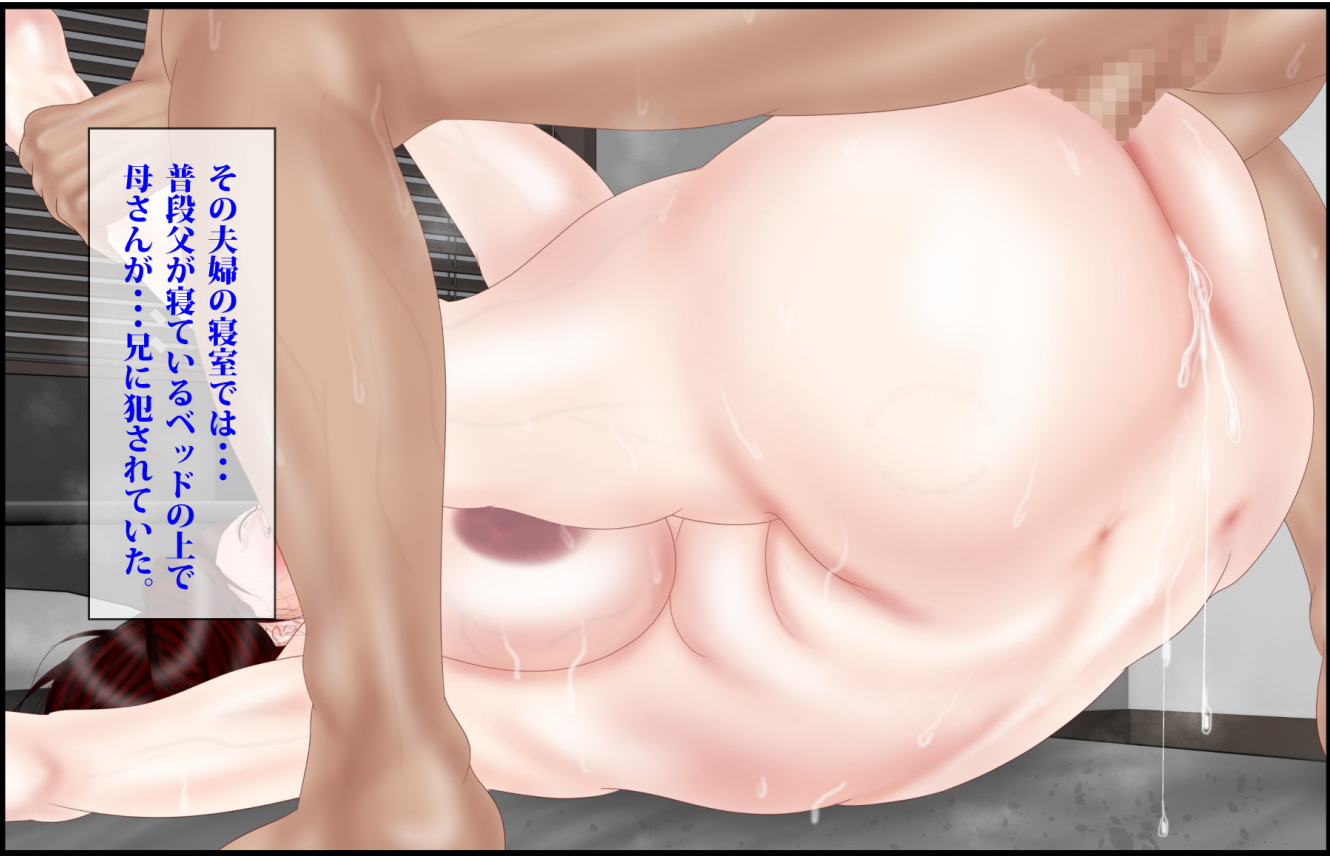
はあ



女は唸り声を洩らし……
また急に甲高い叫びを放つ。

ひいひいひいッ！

おオオオ……



その夫婦の寝室では……
普段父が寝ているベッドの上で
母さんが……兄に犯されていた。



続きは製品版でお愉しみ下さい。